

モノローグ・サポート用作品セレクション
モノローグ集『穴』より

① 『強制朗読事件』（女性）

作：渋谷悠　原案：山本尚志

（ユーチューバーの女が、パソコンの前で収録をしている（あるいは動画を撮影して映写しても良い）。女は喪服を着ている。）

ヤバイヤバイヤバイ。ヤバイことが起きた。

（自己紹介から始めることを思い出し）あ、まなぽんです、チョリッス…とかやってる場合じゃないくらいヤバイことが起きたから緊急配信します。

題して、んん、強制朗読事件。

ハードル上げ過ぎたかな…ちょい下げで。

前回皆さんに相談したじゃないですか、元彼マサシのお葬式に行くべきか否か。でまあ体感、コメントの8割はまなぽん止めとけって言うてくれたんだけど、だから家出るギリまで悩んだんだけど…（「行ってきた」という意味で喪服をつまむ）

そりゃ別れ際（指で小ささを表し）こんくらいの修羅場もあったさ。でもいつときは人生で一番大事な人だったわけだから、勇気とか？諸々振り絞れるもの振り絞って行ってきました。

そしたらソッコーで早苗に見つかった。

あ、元彼の母親ね。これ重要キャラ。ラスボス。

こっちはなんつの、出来れば顔合わせずに、ステルスな感じでご焼香ちゃっちゃ投下して戦線離脱したいわけよ。でも早苗と目が合っちゃって、マジ最悪と思いながらもこう会釈したのね、あたしも悲しいですよってのを眉間で演出しながら。

そしたらもうなんか「よくも来れたわね！」とか怒鳴られて「あんたのせいよ！この人殺し！」とかギャーギャー非難轟々。その短時間で「淫売」って3回も言われてさ…なかなか日常会話にランクインしなくない？って葬式は日常じゃないか、葬儀屋さんならともかく。

大体、フツたのあたしだけけど浮気したのマサシだからね。

言葉でフルボッコにされてピヨってるあたしに読めって早苗が突きつけてきたのが、マサシの遺書。怖いから受け取っちゃって、目を通そうとしたら、そうじゃなくて声に出して読めって言うの早苗が。…は？遺書の朗読フィーチャリングあたし？なくないですか？

うろたえてる間に何となく親族に囲まれて、もうここを切り抜けるには言う通りにするしかない感じなの。今思えば走って逃げれば良かっただけの話なんだけど、体が動かないんだよね。

異変に気付いたお坊さんは良いタイミングでお経フェードアウトさせてくるし。おいそこのトラディショナル・スキンヘッドお膳立てやめろ、そんなパスいらねえ。周りは 100 パー聞く雰囲気になってるし、もうね、結託した世界バーサスあたし。読むしかなかった。

これがまた長いんだ。3 ページ。遺書にしては短いのかも知らないけど、喪服のギャラリーを前に朗読する量としては果てしなかった。

内容がまたさあ、あたしのことをどれだけ好きだったかみたいなクソどうでもいい話なんだけど、その時は生き抜く為に必死。一字一句間違えないように必死。

やっと 2 ページ目読み終えて 3 ページ目行ったらこれが最後の行までビッシリなんだわ。マサシの野郎何してくれとんねん。

緊張で喉はカラッカラ。焦らないように、間違えなように、とにかくペースを崩さず丁寧に読めばいつかは終わる。そうやってようやく最後の 1 行に辿り着いたらね、出ました、読めない漢字。

やべえ。読めねえ。早苗に殺される。でも為す術ねえ。

(書いてパソコンのカメラに見せながら) 皆さん口偏に耳 3 つでなんて読むか知ってます?…答えは「ささやく」なんだけど、まあ知らないわけですよ。

で、遺書の締めくくりは「ここに俺の愛を囁く」だったのね。でも咄嗟に「うごめく」だと思っちゃって「ここに俺の愛をうごめく」って言ったら、間髪入れずに早苗が「囁くよ!」って怒鳴ってきたの。囁く、を怒鳴るっていうね。

これ囁くに見えないでしょ。大体どこに耳が 3 つも付いてる人間がいるよ? 3 つ目の耳はどこよ? あったら何が聞こえてくんだよ?

でも待って。これ今話してて気付いたけど待って待って、普通こんなことさせないよね。この強制朗読事件勃発までは、あたしのせいかなって少しは思ってたけど違うねこれ。

こんなことさせる人間の元で育ったことが原因だよ、死因だよ。あたしも死にたいって思ったもん。これあたしの葬式かよって。

おお、妙なルートでマサシの気持ちが分かっちゃったな。

あたし、悪くないよね? 「まなぼんは悪くないよ」ってコメント沢山欲しいです。あ、そう囁くあいつの声が聞こえるかもしれないね、3 つ目の耳をすませば。ウケるー。

② 『幸あれ』（女性用だが、お父さんに変えるなどすれば男性も可）

作：渋谷悠

（女、ビデオカメラの前にいる。）

えー、愛美、裕太。（息を吸って）お母さんです。

（笑って）そんなの見れば分かるよね。

朝ならお早う。昼ならこんにちは。夜ならこんばんは。

なんでこれを、こんなものを撮ってるかと言うと、えー、お母さんは病気です。

これを見てる頃にはそんなこと知ってるはずだし、あたしもいないはずですよ。

長くて難しい名前前の病気でね、漢字の得意な愛美でも読めないような名前。

こんなのが自分の体にあるんだあって、未だにしっくりきてません。

ちょっとずつ痛くなって、記憶が変になって、言葉が話せなくなっていく、今のお医者さんたちの力では、治す方法がない病気なのね。

だから2人には、お手紙を残そうとか、やっぱ何もない方がスッキリしてるかなとか、色々考えたんだけど、ね、お父さんが買って結局1回しか使っていないビデオカメラがあったから、ビデオレターっていうのかな？を残そうと思いました。

でも、いざ回してみると、いざこうやってスイッチを入れてみると、ちゃんと撮れてるのかも分かんないし、ボケてたりとかすんのかな…（咳払い）何を話せばいいか、もう真っ白。

（短い間）出来れば、怒ってるお母さんじゃなくて、いい思い出がもしちょっとでもあるなら、そっちの方を膨らませて、そっちの方をお母さんってことにしてもらえたら、嬉しいです。

2人のことは、大好きです。

あたしはそんなに苦労もしなかったし、お父さんも大事にしてくれたし、普通の人より沢山いいことがあった中でも、あなたたちが、愛美と裕太が、あたしの元で、あたしの元に生まれて、そして今日まで元気に育ててくれたことは、間違いなく一番、ぶっちぎりで幸せなことでした。

（カメラの電池が切れる。）

あれ？…え、切れちゃった？

（カメラをいじりながら）なにこれ。なんだよ、電池切れかなあ…。

えー…。上手くいかないなあ…。全然上手くいかない。

(息を吸って、小声で) …くそくそくそ。

(ACアダプターをビデオカメラに繋げる。)

…ここかな？

(スイッチを入れて) えー、愛美、裕太、お母さんです。

今ね、こうやってビデオカメラを撮っていたら、途中で消えちゃって、今、やり直しています。

結構いい感じに撮れてたんだけどね。ご存知の通りお母さんは機械が苦手なので、さっきのが見れるか分かんないから、もっかいやりたいと思います。

あーでもなんだろう！結構いいこと言えてたのがね、もっかいやるって一となんか、ちょっと白けちゃうね。

とにかくだ。

このカメラの電池が切れちゃったみたいにお母さんの電池も切れそうだってことが、ってなんか上手いこと言ってるね、あたし。

2人がこれを見る頃には…。

(涙が滲み出てくる。)

あちょっと待って。これはね、これは、悲しくて泣いてるんじゃないからね。絶対違うからね。

これはね、うん、喜びの涙なの。これは感動なの。

2人の未来を想像して、勝手に感動して泣いてる涙なの本当だよ信じてね。

あなたたちがこれから、何か賞をもらったり、別にもらわなくたっていいんだよ、何か一生懸命頑張って、入学式とか卒業式とか、ね、いつかは結婚とか、これからお祝い事があるでしょう？

それを先取りしてお母さんは今感動してるの。

ほら、お母さんせっかちでしょ？

だから、わたしがいなくなっても、お母さんのこの感動している顔を、思い出してね。

あなたたちの未来に幸あれ。

幸あれ。

③ 『勧誘』（女性用だが、男性も可）

作：渋谷悠

（女、友人宅の玄関にいる。）

なんで、なんであなたさっきからあたしの心配ばっかしてんの？

そうじゃ、そうじゃないでしょ。

だって、あたし、あたし、じゃあ目見て。目見てくれれば分かると思うの。

あたし毎日自分の目見てね、昔と全然違うなって、もう、

輝きって言ったら、んん、それよりいい言葉が本当はあるはずなんだけど、

あたし自分の目が違うなって思ってそれで凄い嬉しいのね。

だから、だからあの、あなたにもちゃんと知って欲しくて。

ちょっとしつこいって思われてるし…。

なんかもう嫌われちゃう…かもしれないけど…。

こうやって、頑張る、のは、そういうことなのね。うん。

だって。だって…ノンちゃん幸せ？

そりゃさあなんか、旦那さん、

沢山お金稼いでる人だってのはなんとなく分かるし。

ねえ、だってこんないいマイホームにね、住んでるし。

お子さんたちも可愛いしね。

だけど幸せそうじゃない…よ。

幸せそうじゃないのがなんか…まあ…ごめんねそんなこと言って。

だから本当ね、1回でいいの、1回でいいから来てみて、集会。

凄くね、その、あたしもほら、最初、人にね、ちょっと誘われた時は、

あたしそういうの全然信じないしなんか嫌だよ、

気持ち悪いよって言ったんだけど、んん、

だからノンちゃんが見てそう思うんだろうなってのも凄い、分かるん、のね。

でも、でも本当のことだとわたし思っちゃったから。

思っちゃったっていうか本当のことだから。

だから来て欲しいし、知って欲しいのね。うん。

その人たちはね、みんな凄く………本当の意味で優しいんだよ。

例えば、だってノンちゃん。 / ノンちゃん今あたしを家に入れないよね。

変になっちゃった人と思ってるでしょ。家に入れないでしょ。

なんであたし友達の家で、こんな玄関先でさ、ずっと話してんのかなって…。

でもそこはね、みんなそういうことしないの。

誰でも招き入れてくれるの、歓迎してくれんのね。

あたしみたいな人でも…。
だからノンちゃんは絶対みんな喜んでくれるよ、来たら。
そこの、あの、リーダーが、本当に、
なんて言うのかなあなんか、うーんやっぱり、
愛のある人って言ったら、なんかもっと怪しくなっちゃうんだけど、
本当愛のある人で、本当に…なんかね、こう表面だけを見てる人じゃなくて、
あたしが本来進むべき道だったみたいなのが見えてる人なの。

んーとね、ちょっと専門的な言葉になっちゃうんだけど、
まあ人間にはパナセっていう物が大体5つくらい与えられてるのね、
で、それを、生きてる間にちゃんと活かすことが出来るかっていうことがあって
…。

で、ノンちゃん、のパナセがね、
あたしにもなんとなく分かるようになってきて、
ノンちゃんのパナセが、ちゃんと解放されてない、のね。
だから、ん、まあまあ、ちょっと聞いて、
聞いて、最後まで聞いて。
パナセって、ん、意味？意味は…そだなあ…。
なんか魂の、一部みたいなことなんだけど、
だってさあ魂って別に分かんないじゃん、1つ、なんで1個なのって、
人間の身体みたいに例えば手とか頭とか足とか、
部分で身体って出来てるじゃない？
だから魂にも部分みたいなのがあって、それがパナセなの。
で、それをちゃんと解放してあげた生き方ってのが人間にはあって、うん、
解放するためには、毎日ちょっと唱えたりする言葉とか、
お祈りする…まあ文言みたいなのがあるんだけど、
それは別に形のことであって、本質はちょっと違うのね。
だから、来て欲しいな。
だってさあ、ノンちゃんさつきからさあ、
自分は、自分は大丈夫だよ、自分は幸せだよみたいなの、
そういうのいらないよとか言ってるけど、全然説得力ないよ。
あたしもそうやって自分に言い聞かせる人生やってたけど、
自分も誰も説得できなかつたよ…。

集会のメンバーでピクニック行ったりするんだよ。
おかず交換したりしてね。
解放された人同士だから清々しいよ。
いじめがない学校の遠足みたいなの……。

④ 『宇宙人』（女性用だがゲイなどの設定で男性も可）

作：渋谷悠 原案：高橋大地

（花火を持った女がいる。）

出会った頃さ、もう夜中近かったかな、ゴルフ場に忍び込んで花火やったの覚えてる？ほら河川敷の。

タカ君、全然花火興味無かったでしょ？

なんかね、ずっとあたしを押し倒そうとしてて、そのタイミング窺ってる感じで…いやいや、そうだったって！だから次から次へと猛スピードで花火やってさ、2つ3つまとめて火つけて、さっさと終わらせようとしてたじゃん？

ああいうので分かるんだよ。

ああいうの、もうしてくれないね。

ハラハラしたよねー。見つかったら怒られるんじゃないかって。

タカ君にホールインワンされてる間「星が綺麗だよ」とか言って。

そんで結局、タカ君花火のゴミ全部あたしに押し付けて…。

そうだよ、持って帰らせたじゃん。そういうところあるよね。

あれ処分すんの面倒臭いんだから、全部水に浸さなきゃでき。

（花火を選び、火を付ける。）

綺麗だね～。花火って何で飽きないか知ってる？

時間を燃やしてる気になれるからだよ。

誰が言ったっていうか…あたしだよ。

ってか最近のって終わるのが早くない？いきなりシュンって終わっちゃうのが増えたよ絶対。子供の頃は、1個1個もっと長かった。火薬ケチってんのかね。

（間）タカ君あたしね、あたし、宇宙人なんだ…。

（しばらくして花火が終わり、幾分暗くなる。）

んー、どんな顔してんだろ？暗くて分かんないや。

っていうかタカ君、うすうす気付いてるんじゃないの？あたしが宇宙人だという驚愕の事実には！

バレちゃったんだよね、きっと。あたしの話で笑ってくれないのも、好きな食べ物が違うのも、同じ星の生まれじゃないからだよ。

…もう、触ってくれないのも。

そもそもこれも伝わらないかもね、地球の言葉って難しいし。

っていうか地球の映画に出てくる宇宙人って大体殺されるもんね。

あたしの星では、良いことも辛いことも話せる相手を探すの。

将来の約束をして、気持ちが向かない時も、頑張っって同じうちに帰ってきて、

頑張って同じご飯を食べるの。

そういうの、タカ君、興味無い？

(反応がないので) …触ってよお、お願いだよお、お願いしますよお…！

ダメ？あたしじゃダメ？ダメですか？

(タカ君、触ってはこない。)

あー。捧げても捧げても、捧げても何も変わらない。この外交は失敗だ。

(花火のゴミを差し出して) はい、花火のゴミ、自分でやりなね。

ちゃんと水に浸すんだよ。出来る？

……じゃあ、あたしがいなくなっても、へっちゃらだね。

⑤ 『証明写真』（男性用だが、女性も可）

作：渋谷悠 原案：長谷川葉生

（対人恐怖症の男、写真屋に来ている。）

ああ、やっぱり珍しいんすか…。

あのう、駅の近くにある、なんだ…証明写真が撮れる、箱みたいな、ああいうところで、うん、やってもいいんすけど、ちゃんと、なんか人間に撮ってもらいたくて…あ、はい。

自分的に、人と目を合わせてお願いしますっていう、そんな方法で撮った写真を今回使いたいんすよ。

…あ、はい、儀式ついたら言葉違いますが、なんかあんな箱の中で、録音された声の命令に従って撮った写真貼って、それで、ねえ、それで面接に行くんじゃあなんか違うんすよ。

あ、はい、自分あの…しばらく働けてなくて。

前はアパレルの、まあ色んなブランド持ってるけどこの、店長やってたんすけど…もう、ダメんなっちゃって…。

あの、店員のみんなをまとめることが出来なくて。

なんか段々店頭立つの怖くなったりして、もうずっとバックヤードで伝票整理したり在庫のチェックしたりとか…そっちに逃げるようになっちゃって。

そしたらバックヤード専門のスタッフが応援に来るようになっちゃって、居場所がなくなっちゃって。

ノルマにも全然届かないし…いやつまんないすよね、こんな話。

ちょっとやっど、やっど、人と話せるようになってきたんで、もう1回どっかなにか、世の中の一部に入って行きたいんすよ。だから写真も、ちゃんと世の中の一部でやってる写真屋さんに行こうと思って、来ました。

あ、はい、了解です。

（男、カメラの前に座る。）

いやあ多分笑顔とかじゃないと思うんすけど…。

（間。シャッター音と閃光。）

あっ、なんかあの、あれすか？撮るタイミングってこう、3、2、1の後でシャッター押すんじゃないかって1で押すんすか？

なんかそれ変じゃないすかね？

あ、まあ、いやじゃあ、次はどのタイミングで来ます？あ、はい。

（間。シャッター音と閃光。）

やっぱなんか、俺クレーム付けたから次はもしかして1の後で押してくれるか

なって思うじゃないですか？ちょっと、見してもらっていいですか？

(男、回り込んでカメラの液晶モニターを見る。)

いややっぱ変すよねこの顔。

いやまあ元の、元の顔が変じゃんって言われたらオジャンすけど。

普通のタイミングで押してくれれば、やっぱその、心の準備が、そのコマ何秒で違うんすよね、はい。

(もう一度見て)何すかこれ？これじゃダメでしょ！プロでやってんだから、これじゃダメでしょ！

駅前のあれだったら700円か800円で出来ることを、俺10倍近いお金出すんすから。ちゃんと考えてくんないと、カスタマーサティスファクションを！

(男、自分を落ち着けるおまじないのような動きをする。)

…サーセン。もうダメなんすよ怒るタイミングが変で、はい、あなたのシャッターじゃないすけど。

多分、ずっと我慢してたから、怒れなくなっちゃって。

こんな、ね、怒ったところであなた良い人そうだから、何のリスクも無いことが分かってる時しか怒れなくなっちゃったんすよ。

多分、あんなに我慢しなければ、こんな変にもなんなかったし、辞めたりとかしなくて良かったはずなんすけど。なんだよう…優しそうな人にしか声を上げることが出来ない…ごめんなさいごめんなさい。

いい写真が撮りたいだけなんです。

いい写真を撮って、この人大丈夫そうだなって思って欲しいだけなんです。

いや、まずは自分に、自分は大丈夫なんだって証明したいんです、はい。

⑥ 『口紅』（男性用）

作：渋谷悠 原案：tori

（三脚に乗ったスマホがある。その前で男が化粧道具を広げている。）

（娘に）いいぞ、始めてくれ。

（娘、吹き出す）…何を笑ってるんだ、お前のアイデアじゃないか。

ほら、録画してくれ。

（録画が始まる）あー、優子。俺だ。帰ってきたら奈央は泣いてるわ、お前はいないわで、まだ驚きが抜け切らない。お前がどうしてそうってしまったのか、分からないでもないが、何の確認もせずに実家に帰るなんて早合点もいいところだ…とにかく、何から何まで勘違いだ。

今から、身の潔白を証明しようと思う。

お前が見つけたというこの口紅はだな、これはお前が疑っているような物ではなくて…いやそもそも俺の靴の中を漁るという行為はどうなんだ、あまり感心しないぞ（娘に話を戻され）…ん？ああ、そうだな。

（スマホに向き直り）この口紅は、つまりその、その、俺のなんだ。

（男、化粧を始める。）

本当なら1時間くらいかけたいところなんだが、まあ今回は軽めにな。

使い方を知ってることが、優子に伝わればいいんだ。

お前が一番知ってると思うが、俺には趣味と呼べるものが無くてな。

でもこれは、のめり込むほどに奥の深さがあって、なるほど化粧とはちよつとの力加減でこんなに印象が変わるのかと…服を選んだり、宝石を選んだり、こんな大変なことを毎日やっているのかと、理解が生まれてくるわけだ。

女性の靴のあの痛さ。なるほど道理で歩くのが遅い。

駅の中でお前が遅れてもイライラしなくなる。

ヒールを履いた次の日なんか筋肉痛になる。

「あなたプレゼントが上手になったわね」って言われるようになったのも、センスを磨いて、自分だったら何が嬉しいかなと、そういう視点で真剣に選んでいるからだ。浮気を隠すためのご機嫌取りに思われるなんて心外だ。

（娘に説明を促され）ん？わざわざ言葉にしなくてもさすがに分かるだろう。…そうかぁ？（しぶしぶスマホに）だからその、アレだ、趣味というのは、あー、女装だ。ハマってるんだ、女装に。

（娘に）お前言わせたかっただけだろう!?

大体な、お前も口紅を塗るようになったが、色の選び方を根本的に間違えてい

る。お前の肌はお母さんに似てイエローベースなんだから、青みピンクの口紅だと顔色が悪く見える。色が馴染まないから縦じわに目が行く。

まずは己を知ることから始めるんだ。

少しオレンジ寄りのコーラルピンクが似合うんじゃないか？ユリイカの新作、ビューティフル・フィロソフィー・シリーズ、BP701 が合うと思うんだよ。今度、買ってくるから試してみなさい。

（口紅を塗りながら）優子、俺が初めてこんなことをした時、実は、ホッとしたんだ。誰の上司でもない、夫でもない、父親でもない、何の責任も無い自分が、鏡に映っていたんだ。

（完成した顔をスマホに向けて）俺はこれから、もっと優しくなれる。こんな顔で言われても気持ち悪いかも知れないが、帰ってきて欲しい。頼む。

⑦ 『プリン体』(男性)

作：渋谷悠

(酔った男が居酒屋にいる。)

え!?おめえそれまだ2杯目なの?ふざっけんなよ。マジふざけんな。
俺なんか気を付けねえとまた痛風になっちまうってのに5杯、いや6、いやもう
覚えてねえよ。数えるかバカ。

あっりゃ痛えぞ。だっておめえよ、動けねんだよ、あまりの痛さに。
俺はさ、おめえと違って軟弱者じゃねえから、ちっとやそつとの痛みじゃ痛えな
んて言わねえの知ってっだろ?

でもあれは痛え。半端じゃねえ。プリン体には気を付けろ。
大体なんだそのネーミングは。言葉と中身が合ってるねえ。
プリン体っておめえ、なんか柔らかくて甘そうじゃねえか、なあ?

(女性店員を指して)あの姉ちゃん、いいプリン体してるよな。
ってそういう言葉に聞こえんだよ、俺には。
(舌打ちして)あのプリン体モノにしてえなあ…。

(携帯にメールが来るので、見る。)

ん?ああ、奥さん。

(携帯をしまいながら)いや、早く帰るも何もねえんだ。
あいつ俺が1時間いなかったらウィスキーの瓶1本空にすんだぜ。
時間も何も分かんねえよどうせ。
今の?画像だけとおめえぜってえ見ねえ方がいいって。(相手の表情を見て)あ、
ちげ、おめえの想像してるやつは分かったけどちげえって。

(周りを気にして)いやそういうんじゃないって。
そういう画像送り合うバカップルも世の中いるだろうけど、そんな生半可なも
んじゃないから。マジやめとけ、ほんとやめとけ。

(笑って)まあそうだよな。余計気になるよな。
じゃあさ、面白い話すっから忘れてくれよ。

(手を上げて)お姉さん、お代わりください!

(男、去っていく店員のお尻を目で追う。)

こないだよ、ダチに無理矢理キャバクラ連れてかれてよ。
無理矢理ってか、そいつに言わせりゃ結婚した俺が可哀想だからおごるって言
い出してよ、まあおごりならと思っただけだ。
そしたら日サロ通いしてそんな真っ黒なギャルが出てきてよ、俺に付いてくれ
ただけど、そいつの源氏名なんだったと思う?…ミルク。

(ウケたので合わせて笑う)ねえよな、ねえよ。
俺も言ってやったよ、おめえその色でミルクってむしろギャグだろって。

(笑いが収まり) はあ、世の中バカばかりだよなあ…。

(画像のことを蒸し返され) え? おめえもしつけえな。

だから、あいつのエロ画像じゃねえし、奥さんの見せねえだろ普通。

(携帯を取り出し) 白けても知らねえぞ。

(携帯を前に出して画像を見せる。それはリストカットの画像だった。)

なにこれって、あいつ手首切っちゃうんだよ。リストカット。

俺がダチと飲みに出掛けると手首切ってその画像送ってくんだよ。

な? 白けるだろ? つーかなんだ俺のポーズ、水戸黄門かつ。

…いや大丈夫だよ。死にやしねえよ。

(画像を見ながら) だってこれ冷静だろ。

手首切った後、携帯のカメラ構えて、シャッター押してさ。

ボケてねえし、構図もいいし、綺麗に撮れてんじゃねえか。

(短い間) こんなことするやつがいるところに、帰りたいかねえよ。

飲みたくもなるだろ。痛風んなろうがなんだろうが。痛風上等!

(ビールが来る) お、来た来た。

(手に取って眺めて) いいねえ、プリン体。

……おめえも、もう1杯ぐらい付き合ってくんねえか。

(笑顔になって) お姉さん! こいつにお代わりください!

⑧ 『白紙』(男性用だが語尾などを変えて女性も可)

作：渋谷悠

(男、喫茶店かバーのような場所にいる。)

あるはずのものが無いというのは、人をソワソワさせると思わないか？

ソワソワなんて擬態語じゃ伝わらないな…。

例えばあそこの時計。もし針がなかったら、違和感を覚えるはずだ。

あるはずのものが無い。

頭が勝手に針とその位置を想像してしまうかも知れない。…ピンとこないか？

じゃあ俺の顔で考えてくれ。そうだな、この鼻がなかったとしたら、仮にここがつるんとしていたら、お前は「あるはずのもの」を想像するだろう？

それどころか、あまりの違和感に耐えきれず、俺の顔を見られないかも知れない。何かの欠如というのは、時として直視できないことがあるからな。

すまん。こんなこと話したってどうにもならないんだが、何か変えられるわけじゃないんだが、このままずっと話さないってわけにもいかないんだよ。

息子があんなことになってから、昨日でちょうど1年経ったことになる。

あんなことをしておいて、俺に宛てた遺書は無かったんだ。

母親にはあったし、あいつが仲良くしていたらしい女にもあったし、それどころか高校の恩師にもあったんだよ。

あんまりじゃないか…なあ？…あんまりだよ。

だから、無いわけがないって固まるんだ、思考が。

だから、あいつが見つかった時に、警察があいつの体を下ろしてる時に、ポケットかどこかから落ちたんじゃないか。まだ、あの裏山の木の根元らへんに転がってるんじゃないか。探しに行くんだよ。

これがさ、まあ1回や2回ならやる奴もいると思うんだ。

でもそれじゃ済まないんだよ。もう、あいつが見つかったところからだいぶ離れた木も調べ尽くしちまった。

絵が描けるよ、どこにどんな木があるか。根元がどうなってるか。

結構ゴミが捨ててあってな、あいつ、こんなところで死んだのかあって、行く度に持ち帰るようになって、今綺麗になったよ。まあ、せめてな。

あいつの着てた服は処分してもらったから、その中にあったんじゃないかね。

無いわけがない。無いわけがないって自分に言い聞かせて、その言葉を、あれからずっと杖にしてきたんだよ。頼りない杖だ…。

昨日、一周忌が終わって、帰ってきて、喪服のまま、書こうとしたんだ。
その、あったはずの遺書を。俺宛の遺書を。
最初は、何かの裏紙を手を取ったんだが、思い直してプリンターの中からちゃんとした紙を持ってきた。
普通のペンじゃないなってこれも思い直して筆ペンに変えた。
真っ白な紙を前に、息子の気持ちになろうとした。

(間。)

なんにも出てこないんだ。
俺が言ったことしか覚えてないんだ。
「就職すればどうにかなるから」とか「自立が一番大事なんだ」とか。
どれもこれも、親じゃなくたって言えることばかりなんだ…。

白紙だ。あいつが何を言ったか全く思い出せなかった。
息子の気持ちが全く分からなかった。
紙切れ1枚、埋めることすら出来なかった。

新作モノログ（本には未収録）

⑨ 『糞坊主』（男性用）

作：渋谷悠 原案：小島啓寿

（男、余った寿司を持って入ってくる）

いやーようやく帰った。いやだからあの坊さん。そうなんだよ、今の今までいたんだよ。

お前も最初の方ちょっと聞いてたろ？あれからもずーっとお布施の話。最近の若い人たちはねえ、仏さんに興味ないみたいでねえ、うちのお寺維持するの大変でねえ、ガタが来てるのに直せないんですわって、知らねえよ。2時間居座って有り難い話の一個も出てこない。葬式だつてのになんかご機嫌だし。

…あ、お前も思った？やっぱり念仏違ったよな？みんな思ってたらしくて、坊さんがトイレに立った隙きにその話で盛り上がってさ、息は続かないし苦しうに唱えるし、お布施の話だけ流暢なんだよ、もうふざけやがって。

やっぱ人の葬式やるのとはわけが違うね。飽きるほどやってきたから坊さん選びなんて簡単だと思ってたら、見事にババ引いちまった。れっきとした糞坊主。糞坊主ツモっちまった。

…でもまあ坊さんなんてろくなのいないよ。

先週請け負ったやつなんてさ、坊さんが喘息持ちで、煙があるとむせちゃうってんだ。そうなんだよ、もう向いてないんだよ、葬式って何から何まで煙だつてのに。だからお経の間お線香をこう自分の後ろで焚くわけ。それでも咳き込んでやって、なんかお経も止まっちゃって、そういうもんなのかどうか分かんないからみんな動けない。しょうがないから俺がゆーっくりこうやって回り込んで、覗き込んだらさ、気絶して白目向いてた。

本当なんだよ。もう慌てて救急車呼んで、坊さん運ばれてった。

（男、笑う）

じゃあその後どうすんだって話だろ。お経は途中だし。

神様仏様あってあたふたしてたら、そのお寺さんには跡取りがいるってことが分かって、まだ20代で若いけど向こうもそりゃ責任感じててさ、やってくれることになったわけよ。

これがまーも一何も出来ない。

どこまでお経読んだか分かんなくなつて止まるんだ。その度に戻って読み直すもんだから終わんない。でまたその母親が、坊さんの母親が、後ろの方に座って

見てんだよ、心配して見に来てんだよ。

終わってからも謝りに来ちゃって「息子は大丈夫でしたか？お経長かったでしょう？読み直してたでしょう？」これには親族から文句ブーブー。授業参観じゃねえぞって。

それ以前にあんた泡吹いてた旦那さんに付き添わなくていいのかよ。

(男、笑う)

こんなに笑ったらバチが当たるかな。

(軽く天に向って) ごめんよ。

…いや、もうビールはいいや。なんだかんだで食う暇なくて、ずっと空きっ腹にビールだったから。お茶もらえる？

なんでしょーもないのばかりなんだろうなあ。

まあでもさ、色んなことがいっぺんに来る中で、坊さんがあんなだと「なんなんだ！」って捌け口になって、みんなして糞坊主だ糞坊主だって言ってるうちは捌け口があって、なんだか親父が死んだことを悲しむ暇がなかったよ。

あいつらわざとボンクラのフリしてくれてんのかね。

今ようやく、ちょっと、まあなんか、来てる。

…お茶は、後でいいや。

あのさ…手、握ってくれないか。

⑩ 『ひまわり組のオフ会』（女性用）

作：渋谷悠

（女、自らが主催するオフ会にいる。隣の女に話しかける）

あの人、自己紹介長いわねえ。簡潔にって言ったら一分くらいが常識だと思わない？グループラインでは一言も言わないし、スタンプ一個返したこともないクセに。そういう人に限ってって感じよねえ。先が思いやられるわ。

ねえ、田中さんどう思う？大人3500円は高かったかしら？子供2000円ってのも安くはないわよねえ。なのに何この料理、こんなパサパサな唐揚げ生まれて初めて。サラダも見て。レタスはヨレヨレ、トマトはしわしわ、こんなにくたびれたの集めて、お野菜の老人ホームじゃあるまいし。菅沼さんイベント関連のお仕事されてるって言うからセッティングお願いしたのに、酷い仕事振りよねえ。これから皆さん四年間一緒なんだから、初めましての席はもっとちゃん…こら勇太、ちゃんと座ってなさい。

（隣の女に）うちの子はちょっと環境が変わると落ち着きがなくて。お腹の中にいる時からクラシック聴かせてたらピアノが好きになっちゃって、今も弾きたくてしょうがないのよ。お宅のお子さんはいいわねえ、おっとりしてて。羨ましいわあ。…やっとな終わったみたいね。

（立ち上がって）

えー皆さん、簡潔な自己紹介ありがとうございました。
菅沼さんのおかげで美味しいお料理も頂けて、ひまわり組のお父さんお母さんもこうやって繋がる事ができて、本当に良かった、良かったですね。

来月は保育園が主催する運動会、ガンバリンピックがあります。うちは上の子が今あさがお組にいて、去年出場してるんですね。いい保育園なんですけど人手が足りないせいか、細かいことの連絡は遅れることがあるんです。ですので、私の方で前もってお伝えできることは簡潔にお伝えさせていただきますね。

去年は、ガンバリンピックの最後にお遊戯がありまして、子供たちがネコかウサギかパンダになって踊りました。去年と同じなら、皆さんには動物のしっぽとお面が、ネコかウサギかパンダのお面が、配られるので、色を塗ってきてくださいーって言われます。しっぽは、黒色か茶色のズボンに縫い付けてきてくださいーって言われます。

去年は、配られてから一週間以内に塗ったり縫ったりしなきゃいけなかったんですね、あほら、練習期間があるから、踊りの。お話を聞いた感じ、共働きされ

てるご家庭が多いようですし、その場合一週間以内というスケジュールはタイトでしょう。ここ、お忘れなきよう。

あ、それから、しっぽなんですけど、最近のお母さんはあまり縫い物をされないでしょう。簡潔にお伝えしますと、ぬいぐるみ針ではなく、少し長めの針を使ってください。縫い始めはやりづらいので、少し粗く閉じるといいですね。糸を引きながら2～3周縫うと安定します。最後は玉結びをして、見えないように押し込んでおくと良いですね。ここ、お忘れなきよう。

それから、このオフ会が終わってからグループラインに流しますが、掲示板に貼られたテント配置の写メがあります。去年は、陣取りに失敗しちゃったんですよ。テントの左側に陣取っちゃうと日が当たって暑いんです。皆さんにはこの失敗を…なんのことか分かりませんよね、今写メを送ります。

(スマホを取り出し、操作を始めるが)

…清水さん、これ何かの間違いかしら？

グループラインを退会したってなってるけど、これ何かの間違いよね…。

…あら、そう。…だったらせめて私に個別ラインで一言断ってからでも良かったんじゃない？黙っていなくなるなんて、それはこのオフ会から一言も挨拶しないで帰るのと同じくらい失礼だと思わない？

あのねえ清水さん、これから四年間一緒なのよ。人と人との繋がりって挨拶とお礼でちょっとずつ作られていくのよ。いや別に今お礼を言って欲しいわけじゃなくて。全然そうじゃなくてね。全く違います。でも、言う方も言われる方も気持ちいいでしょ、お礼？

ね、私の隣に座ってる田中さんなんて、私が何か流す度に「ありがとうございます」ってちゃんと返信くれるの見てるでしょう。

その次に菅沼さんが反応いいわね。ありがとうございますって17回も。

保土田さんが15回。倉田さんは最近スタンプが多いけど10回。

後の皆さんは大体5～6回かしらね。

あなただけよ、グループラインで一言も言わず、スタンプ一個も返したことない人なんて。あなただけなのよ。

ほら、言ってごらんなさい。ありがとうございますって。

気持ちいいから言ってごらんなさい。

これはね、清水さん、あなたのためでもあるのよ。

人と人との繋がり、挨拶とお礼。

ここ、お忘れなきよう。

⑪ 『ナンパ先輩』（男性用）

作：渋谷悠 原案：西島玄

（男、後輩を連れて立ち飲み屋にいる）

いや分かる。分かるよ。俺も昔お前とおんなしだったから。
女見るとあれだろ、チンコ硬くなる前に体が硬くなっちゃう。喉は一気にカラッカラで何言っているかわかんねえ。そういうこったろ？

いやすげー分かる。大体女ってありゃなんだ。なんであんな柔らかくていい匂いがすんだ。最高かよ。そりゃこっちは固まるってんだ、なあ？

でもなあタケン、俺は生まれ変わったんだ。ある人に出会ってよお。
毎日女に声かけるって決めて、ノルマ決めて、生まれ変わったんだ。
一日一人、必ず女の電話番号をゲットするって自分に誓った。台風んなろうが、
親戚が死のうが、ノルマは絶対守る。ゲットするまでひたすら声をかけんだよ。
ひたすら繰り返す。

この繰り返すってのが秘訣だよお、断られても何とも思わなくなるし、何しろハートがよ、タフくなる。タフなったら話は早い、そっからは上達あるのみ。
うちの工場の作業だってよ、凍った魚とか野菜とか、ベルトコンベアからバンバン流れてきてさ、お前最初は全然追いつかなかったよな？でも今はどうだ、コンベアの先まで見る余裕あんだろ、手が勝手に動くだろ？俺なんてコンベアが止まって見える日があるぜ。

おんなし。なんでもいいから臭いセリフを言うんだ。君の瞳に乾杯。君は俺に愛されるために生まれた！俺の生きる意味になってみない？なんでもいいからひたすら言う。ほんとな、言うか言わないか、言うか言わないかなんだよ！

（後輩の顔を見て）

え、おま、信じてねえだろ。あこれ信じてねえパターンだわ。
（メモ帳を取り出し、見せる。名前と電話番号で埋まっている）
一回データ飛んでから手書きに変えてよ。大事なもんはアナログがいいぞ。
…そうだよ、全部女だよ、ったりめえだろ。アパートにもう一冊ビッシリ埋まったのあっからな。んでもって、え〜、7割ヤツてます。
昨日はこの子。夏美ちゃん。良かったよお、イッた後の顔がさ、もうなんつーか菩薩なんだわ、菩薩。手合わせたくなっちゃった。

いやあ俺なんかまだまだだよ。すげー先輩がいてさ、あの人に比べたらペーペー。ガラケーのメモリパンパンになるくらい女の名前しか入ってねえの。

だよ、先輩脚の、太もものここらへんが性病で紫色になってんのにあの人海でナンパしてヤッてんだ。すげーよ。俺あすこまで出来ねえよ。

性病んなったら俺なんか病院行っちゃうけど、あの人海でヤッてんだよ。負けたくねんだよ。脚の付け根が紫色んになって俺やべえって思ったけど、先輩海行こうつって着いて早々ヤッてんだよ、どっかの岩陰でパコパコよお。すげえよ、俺には出来ねえよ。俺あの人に負けたくねんだよ。

だってよ、先輩は脚が腐ってもやりたかったわけだろ。相手もことも自分のこともどうでもよくて、純粹にやりたかったわけだろ。先輩の頭のとっぺんからつま先まで性欲ってことだろ。やべえよお、やべえ。欲望の向こう側に行っちゃってんだよ。

俺思うんだ。毎日あのデカイ冷蔵庫みてえのに入って、流れてくる凍った魚仕分けしてさ。立川って貼ってあったら立川のカゴに入れて、板橋って貼ってあったら板橋のカゴに入れて、カゴが一杯になったら別のカゴ持ってきて。こいつらはまだマシだ。死んでからも凍らせてもらえて、役に立つんだよ、行き先があんだよ。それに引き換え俺たちはどうだ？死んだら灰んになって終わり。冷凍食品の、正反対の運命だ。

…しょうがねえなあ。タケシ、お前今度の日曜暇？

いや知り合いから二万で車買ったからさ、いやそーなんだよ二万！お買い得だろ！？売る方も買う方もアホだろ？

いや暇だったらちっと手伝って欲しいんだわ。全部水色に塗ろうと思ってよ。水色、いいだろ、目立つから。その車で街ん中流して、お手本見してやるよ。

海の色、空の色。

俺、水色大好きなんだよ。

⑫ 『統一列車』(女性用)

作：渋谷悠 原案：チョン・スニョン

(女、プロポーズされそうになる)

ちょちょちよっと待って！それしまっ！磯辺くんそれしまっ。
ごめんね、その先は言わないで。その先を言われちゃうと、私決めなきゃいけないじゃん。イエスかノーか、決定的な決定をしなければいけないじゃん。だからしまっ。

磯辺くん、ちょっとずつ話して来たけど、私それされちゃうと、私や同胞が今まで守り抜いて来たことに、その全部に背を向けないといけなくて、ある意味裏切んなきゃいけなくて、それをやる勇気なのか覚悟なのかは…私の、私の中には…だからこのままの方が良くない？ただ一緒にいられば、ただ一緒にいるだけなら、色々考えなくていいから決めなくていいから。それじゃダメ？

…なんでって…知ってるでしょう？

私ズーっと否定されて来たんだよこの国で。チョゴリ着て学校通ってるだけで自分の国に帰って罵倒される。12年間無遅刻無欠席、オール優なのに推薦入試も受けられない。カタカナの名前見せると不動産屋で厄介払いされそうになる。薬剤師なんですよって言うのと手のひら返してくる。それが日常だよ私の。

死ぬような思いしてなった薬剤師だって、五反田の薬局に回されて、朝はキャバ嬢、夜は風俗に行くお客さんにコンドーム売って、一緒に入るのかな？入浴剤売って、男性はプレイで破るのかな？ストッキング売って、精力剤売って、薬剤師の資格なんか全然関係ない。

私の親は絶対反対するし、磯辺くんの親だって、私のこと話してくれてるの知ってるけど、でも結婚ってなったらどんな顔するか分からないよ。
それ以前に、私が、分からない。

もし磯辺くんと式をあげたら、最後に統一列車できないでしょう？

知らないよね、統一列車。

あのね、同胞のお祝いの席で、最後音楽が流れると、何人か踊り出すの。おじいちゃんおばあちゃんとか凄いうれしそうであ。しばらくすると誰かが前の人の肩に手を置いて、こうやって列車を作るんだ。そうして行くうちに部屋中に短い列車がいくつも出来ていって、騒ぐのが嫌な人もしょうがないなあって感じで混ざるのね。でいつの間にか長い一つの列車ができるの。南北が統一されますようにって。そういう分断がなくなりますようにって願いを込めたものでね。長

い時はぐるぐる30分ぐらい回るんだ。

…多分それ、出来ないよね？別にやりたいわけじゃないんだ、ただ物心ついた頃からずっとやってきたっていうだけなの。

私の中には、私自身が体験してない歴史まで渦巻いてるの。

日本の植民地だった時代に強制的に連れてこられたり出稼ぎで日本に移ってきた人たちが、70万人の同胞が戦後解放されて、ここに残るしかなくて、日本政府の同化政策があって、このままじゃ自分たちの言葉がなくなるからって、それをさ、教えられる場所作って、それが段々小学校中学校になって…当時は酷かったんだよ、色々な弾圧があって、ダンボールを机代わりにして、雨が降ったらぬかるむような場所でしか勉強できなくて、もう辛くて、日本人に帰化した人もいるし、朝鮮人だってことを隠して来た人もいるし、自分のルーツを知らないまま日本人として生まれてきた人も沢山いる中、私たちは自分の名前を守ってきた。朝鮮の言葉を守ってきた。文化を、魂を、生きてきた意地を、受け継いできたの。その血筋をね、絶やすことって、私…していいのかなあ？

その歴史と、その指輪を見る前の私を裏切るのかと思うと…怖くて、嬉しくて…ほら見て、震えが止まらないの。

⑬ 『浮遊』(女性用だが、工夫次第で男性も可)

作：渋谷悠 原案：こぼん

(拒食症のデリヘル嬢が客といる)

…そうですか？そう言ってくれると嬉しいです。

いつも指名してくれてありがとうございます。相性いいですよ…私も気持ち良かったです。今日は激しくしちゃったから、10分余っちゃいましたね、なんかします、他のこと？

…やめてください、私の話なんてつまんないですよ。藤田さんが何か話してくださいよ。…ん～じゃあ、そうですね、なんか私にリクエストあります？次はこうして欲しいとか。ここを攻めて欲しいとか。

(栄養を取った方が良いと言われて)

え…それ逆鱗なんですけど、本気で言ってます？

いや心配だからとか言い訳はいらないです。

ぽっちゃり系がいいなら別の店電話しろって話じゃないですか。痩せてるのがいいから私を指名してくれてるんじゃないんですか？

もっと栄養取った方がって、あなたに栄養の何が分かるんですか？！

藤田さん私、私は、食べ物を買う時必ず脂質の割合、炭水化物の割合をチェックするんです見たことありますか？どこにそんなこと書いてあるのか知ってますか？

小6の頃からずっとこうなんです。鏡を見た後はほぼ必ず瘦身グッズを検索してるんです。これは、この体は、努力の結晶なんです。

心配なんてされる覚えありません！

…ちょっと、そんなに謝らないでください。そんなに謝るなら最初から変なこと言わないでください。分かりました、分かりましたから！

てっきり、こういう体が好みだと思ってたんでショックでした。

小6の4月からずっと…身体測定ってあるじゃないですか、年の初めに。クラスで一番可愛かった久美ちゃんより1キロも多いて知って、それからずっとこうなんです。

給食は食べるフリしてビニール袋に入れて、帰り道で捨ててました。一度、母のお弁当を残して習字道具の中に隠したことがあったんです。そしたらショウジョウバエがわーってなって、食べ物がそうなるって知らなかったから、食べてないからフラフラなのにショウジョウバエ叩こうとして。

自分が勝てることって、そんなにないじゃないですか。だから体型で周りに勝て

てると優越感が気持ちいいんです、セックスなんかよりもずっと。
でね、痩せていくとちょうどいい時があるんです。体力はギリギリあって、でも体は軽くて。あの軽さがいいんです。浮遊してるみたいな、風が吹いたら飛べそうなあの感じ…と一っつても心地いいんですよ。
…ほらね、私の話なんてつままないでしょう？

…そんなこと聞いてどうするんですか？
こんな状況でカウンセリングの真似事とかイタいですよ。
藤田さんのこと好きになっちゃったらどうするんですか？もっとイタいですよ。

…両親とはそりゃ、仲良かったら色々違ったのかなとか思いますよ？でも自分の家族しか知らないんだから分かりっこないですよ。
うちは、母が父のことを「馬鹿だ馬鹿だ」ってことあるごとに言う家庭でした。アスペルガーなんです、父が。無抵抗だからエスカレートして、家族みんなで父に物を投げるとか日常茶飯事でした。うちでは、何か母の癩に障ることをすると「パパそっくり」って言われるんです。だから、私の中の半分は、父に似た部分は、絶対母に愛されないんです。

私は、痩せることで、愛されない部分を削り取ろうとしてるのかな、とか思ったことがあります。…だとしたら私、相当馬鹿ですよ。

(女、帰り支度を始める)

そろそろ時間ですね。また指名してくださいね？
あーほら、もう藤田さんのこと好きになりかけてるじゃないですか。
藤田さん。私藤田さんの予約が入るとウキウキして、下剤を飲むんですよ。変な話でごめんなさいね。効くタイミングがコントロールしやすいお気に入りのがあって、それを飲むんです。膨れたお腹で会いたくないから、全部出して来てるんです。
今日も私、とっても軽かったでしょう？

⑭ 『お誘い』（女性用）

作：渋谷悠 原案：岬万泰

（酔った女、男と一緒に裏道にいる）

みんな帰っちゃったねえ、高橋くん。なんか気使ったのかな…。
佐藤のやつ、二次会は二人でやれば？って。ニヤニヤしながら、きつない歯見せて。ね、変だよ、うちらもう付き合ってるわけでもなんでもないのに。
…まあでもね、え、これ言っちゃう？言っちゃうよ？あたし、未だに付き合う男あなたと比べちゃうんだあ。…その感じがバレたのかな、佐藤たちに。

あの頃のあたしはさあ、もう言っちゃうよ？酷かった。
あなたを人として扱ってなかった。ダメって言わないから、この人どこまで許してくれんだろうって、なんか新しいオモチャもらった感覚で付き合ってた。
別れてから初めて、え、あたし好きかもしんないって気付いて、それからなんと、えーこれも言っちゃいます、6年！6年も引きずったの。面倒臭い女でしょう？
…いや思ってるよ、思ってますよ。そりゃちっとはお酒の力を借りてるけれども。こう見えて、正真正銘の、心の底の底の底からの、わお15年越しの、ごめんなさい。

（笑ってしまう）

ダメだ、ダメなんだよあたし、ちゃんとするタイミングでちゃんとできないの。
笑っちゃダメって言われた瞬間ゲラゲラ笑っちゃうし、非常ボタン押すなって言われたら押しちゃうし。押してみても、あこうなるんだ、やべ逃げなきゃってスタンスでここまで来ちゃったから。
だからもう駅のトイレで「落書きしないでください」ってのも、さてさてどんな落書きしてやりましょう？ってなるわけよ。
あれもダメ、これもダメ、ダメダメダメって…世界はね、高橋くん、禁止で出来てるんだよ。生きづらいたらありゃしない。いっそ死んだら楽だろうね～。

…死んじゃダメって。おいこら、ダメって言われたらやっちゃうって話の直後にそれ言います？あそっかじゃないよ。
でもさでもさ、高橋くん。経験出来るなら一回死んでみたいって思わない？
人間、深海に行けるし宇宙にだって行けるのに、なぜ一回死ねないのか。
よくあるじゃん、意識不明だった人が言う「お花畑があった」あれほんとか？
「三途の川の向こう岸でおばあちゃんが」ほんとか？
偉そうなお坊さんがテレビで「死とはただの通過点であり」ってお前死んだことねえだろ！ね、思うよね！…え、じゃあ試しに死んでみる？

流石に一人じゃ怖いけど、高橋くんと一緒なら、まあ最悪戻って来れなくても？
今みたいにバカ話してりゃいいわけでしょ、お花畑だか川の向こうだかで。

どう、やってみない？

(爆笑して) いい表情だね～！私が見てきた苦笑いの中でダントツ1位！
…でもあれ？案外？断っては？来ないんだね？

え、ちょっとちょっと、やっちゃう？やっちゃう流れ？

だったらお任せあれ。多分普通の人より死の間際に行ったことあるから。死神さんとはわりかしバディ。小学校3年、4年ぐらいの時かな、こういう健康器具？
母親が通販で買って以来触りもしなかったやつにね、カチューシャ付けて首吊ろうとしたことあるし、勿論なんも分かってないからカチューシャごと落ちて失敗したんだけどね。

あと、スキューバダイビングで死にそうになったこともあるよ。咳き込んでレギュレーターが外れてえらいパニックになって…でも浮上した時、わあ人間って凄いつて感じたの。だって空気があるだけで生きていけるんだよ！しばらく空気があることに感謝したの！

だからもし、今日、今夜、高橋くんと一緒にその先まで行けて、一回死ぬことが出来たなら、きっと素敵な体験になると思う。もっと今を大事にすると思う。あなたのことを、今度こそ、大事にすると思う。

だから、死んじゃダメって言って。

死んじゃダメって言って。死んじゃダメって、言って。
